



排水向け消泡剤エマルション消泡性能比較

消泡性試験

発泡液

オレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン、1wt%水溶液

ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム水溶液、0.025wt%水溶液

消泡剤

DOWSIL™ AFE-7820 Antifoam Emulsion: AFE-7820: 不揮発分20%、即効性があり、高温・高アルカリ下でも持続性あり

DOWSIL™ AFE-7950 Antifoam Emulsion: AFE-7950: 不揮発分50%、高濃度で即効性あり

DOWSIL™ AFE-3101 Antifoam Emulsion : AFE-3101: 不揮発分25%、即効性と持続性に優れる

DOWSIL™ 95 Antifoam Emulsion: 95 Antifoam: 不揮発分15%。希釈安定性に優れ持続性あり、水中で容易に分散

DOWSIL™ FS Antifoam DB-110N: DB-110N: 不揮発分14%、即効性あり、水中で容易に分散

シリコーン系消泡剤A : 他社品A: 不揮発分19%

シリコーン系消泡剤B : 他社品B: 不揮発分15%

試験方法

シェーカー試験による消泡性能評価

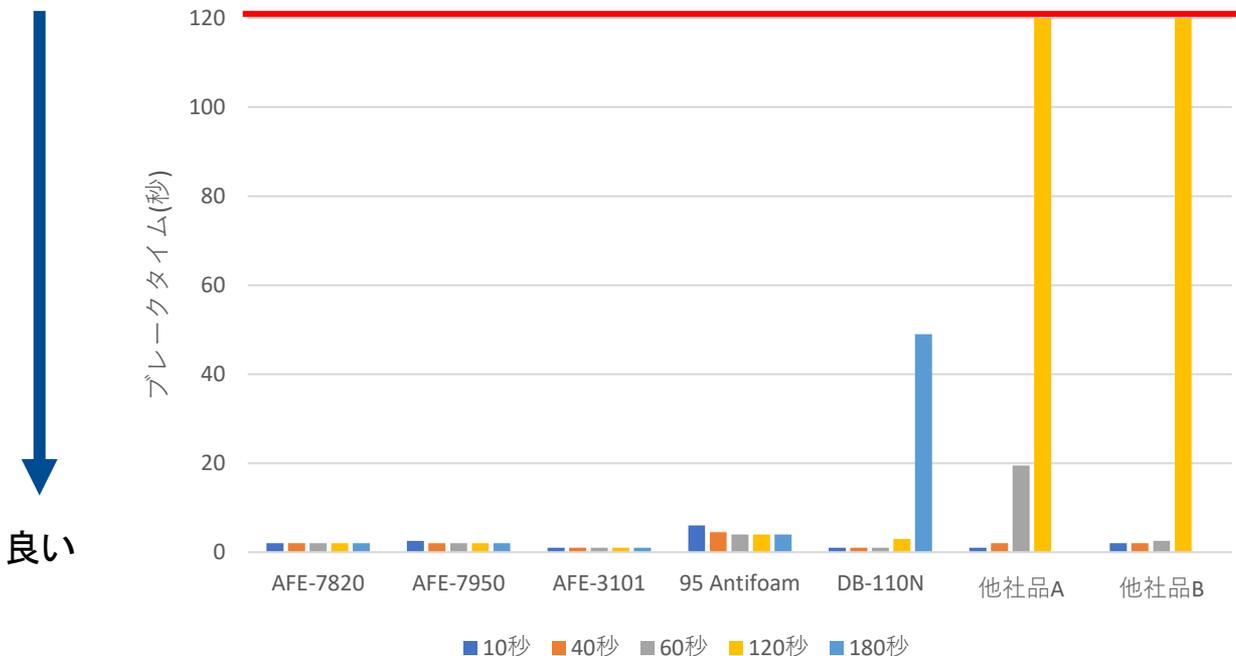
振とう時間: 10秒、40秒、60秒、120秒、180秒の順に評価

判定: ブレークタイム(泡のない液面が見えた時間、秒)

ブレイクタイムの比較

オレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン、1wt%水溶液

消泡剤濃度：有効成分50ppm

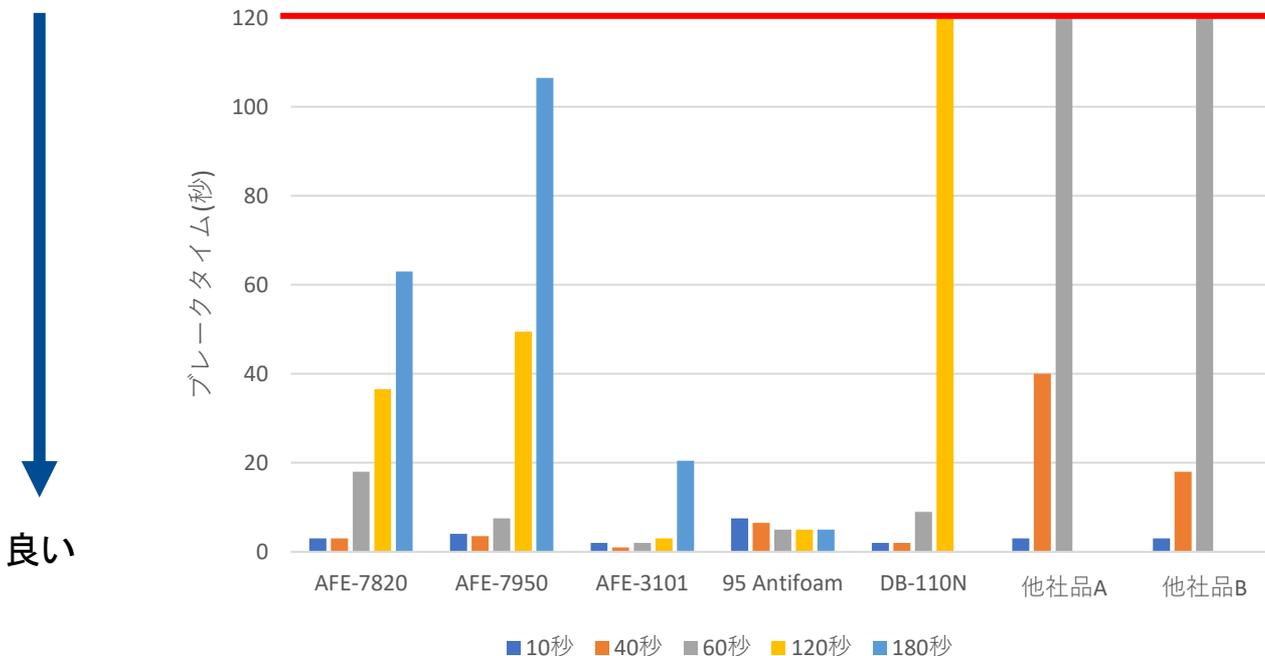


累計振とう時間が長くなっても、AFE-7820、AFE07950、AFE-3101と95Antifoamは消泡性が持続する。

ブ레이크タイムの比較

オレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン、1wt%水溶液

消泡剤濃度:有効成分20ppm

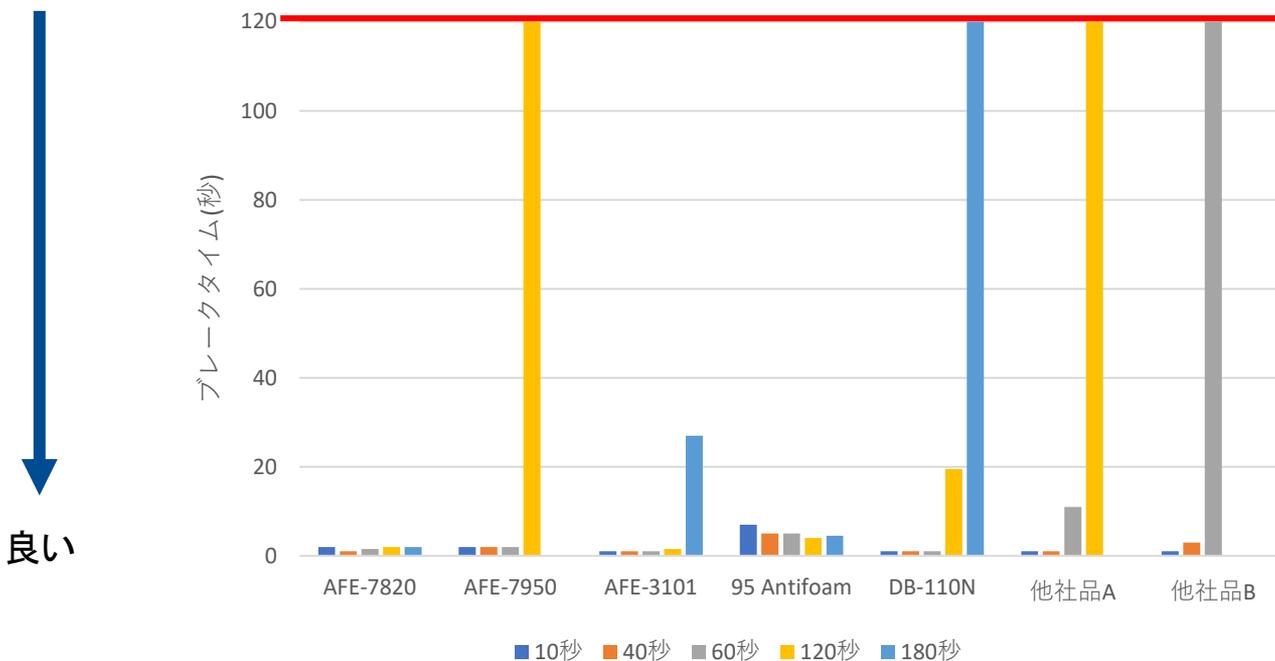


消泡剤濃度が低くても、AFE-3101と95Antifoamは消泡性が持続する。

ブ레이크タイムの比較

ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム水溶液、0.025wt%水溶液

消泡剤濃度: 有効成分100ppm



累計振とう時間が長くなっても、AFE-7820と95Antifoamは消泡性が持続する。

まとめ

	即効性	持続性	希釈安定性
DOWSIL™ AFE-7820 Antifoam Emulsion	○	◎	○
DOWSIL™ AFE-7950 Antifoam Emulsion	○	○	△
DOWSIL™ AFE-3101 Antifoam Emulsion	◎	○	△
DOWSIL™ 95 Antifoam Emulsion	△	◎	◎
DOWSIL™ FS Antifoam DB-110N:	○	△	○



Seek

Together™